

[ハイ・ベックタイムズ] Best Eco Cleaning
Hi-Bec Times 2023 autumn winter

Washing Revolution of Japan! 日本にお洗濯革命! 株式会社サンワードのハイ・ベック通信!

Column Special

- 水の危機
- シーズンオフだからこそ...日傘の仕舞い洗い
- お洗濯と環境問題
- 冬でも部屋干しでも短時間で乾かそう

水の危機

地球は水の惑星と呼ばれ、表面の70%が水で覆われています。しかしその多くは海水であり、淡水は全体の2.5%にしか過ぎません。さらに人間が利用しやすい河川などの水に限れば、地球全体の水のわずか0.01%です。現在も世界では多くの人が水不足に苦しみ、2050年には全世界の4割の人が水不足に陥ると予測されています。

日本は水資源が豊富で水に困ることは少ないですが、その大部分は雪解け水や雨水による地下水であることから、温暖化による積雪量減少などにより水不足に陥る可能性もあり、水問題は日本も無関係ではありません。

当然ながら水は産業においても重要で、農業、飲食、アパレル、製造業など、様々な産業において欠くことのできない資源です。近年台湾の半導体企業が熊本に製造工場を建設することが話題となりましたが、その理由として水資源が豊富であることを挙げています。この企業の誘致によって地域に数千人の雇用が生まれ、十年間で四兆円もの経済効果が見込まれています。世界的に水不足が広がる中で、水資源が豊富であることは大きな強みであり、水資源を守ることは私達の生活と経済を守ることに繋がります。

弊社も商品を製造する際には水を使用し、機械類の洗浄においても水は欠かせません。そこで、未来の水資源を守るため、微生物分解性のより高い成分へのリニューアルや、水田による地下水保護を目的としてお米由来のバイオマスプラスチック容器の採用を予定しています。

ハイベックでお洗濯することで、衣類を守り、水を守る。毎日のお洗濯が、良いサイクルによって私達を守ることに繋がる。商品の製造からお客様にお使い頂いた後まで、環境にやさしい商品を目指して参ります。



乾燥にかかる時間 (部屋干しの場合)
 夏: 4~6時間
 冬: 12時間前後

部屋干しで気になる「生乾き臭」の原因である『モラクセラ菌』が発生するまでのタイムリミットは **5時間**

衣類に適した干し方をする事で乾燥時間は短縮できる! 早く乾かすには他にも



- ・干す間隔を広げる (こぶし1個分)
 - ・脱水時に乾いたバスタオルを入れる
 - ・エアコンや扇風機・サーキュレーターを使う
- 真下から当てると効果的

冬の部屋干しは結露対策を!

冬は屋内外の気温差によって窓に結露が出来やすく、カビなどによるぜんそくやアレルギーを引き起こす可能性もあるため、しっかり対策しましょう

結露対策

- 対策① こまめな換気
- 対策② エアコン・除湿器の使用
- 対策③ 結露防止スプレー・シートの使用

おすすめ商品 **ハイベック ボディハンガー**

- シャツ・コート・ジャケット、ズボン・スカートと幅広い衣類に使える
- 型崩れが防止できる
- 使用しないときはコンパクトに収納できる
- 人体の厚みがあるから風が通りやすく乾きやすい

MEMO

厚手の衣類や布団などの大物を洗濯する時は、「洗濯指数」の高い日を選ぼう!

※洗濯指数とは...天気や気温などの予測から計算した「洗濯物の乾きやすさ」のこと

洗濯指数 検索

●発行: **株式会社サンワード** SINCE1981

〒860-0845 熊本県熊本市中央区上通町2-30

お問い合わせはフリーダイヤル **0120-668689**

ハイ・ベックお客様相談室

◎オフィシャルホームページ <http://www.sunward.co.jp/> マイペースにブログ更新中!

〈取扱店〉

文責は当社に有しておりますので、無断転載はご遠慮ください。尚、ご意見やご感想がございましたら、上記に記載のお客様相談室までお電話でお問い合わせ下さい。

洗濯と環境問題

私たちの衣類は様々な繊維から出来ていますが、近年お手入れの容易さなどのメリットから化学繊維の衣類が増加しており、衣類全体の70%以上が化学繊維です。しかし、その化学繊維の一部がお洗濯時に衣類から剥がれ落ち、海洋プラスチックごみの一部となっていることはご存じでしょうか？

剥がれ落ちたマイクロファイバー（繊維ごみ）の量は海洋へ流れ着いたプラスチックごみ全体の35%とも言われています。



●ハイベックで洗ってマイクロプラスチックの流出を防ごう

繊維ごみが出る原因	ハイベックでできる対策
■外干しによる紫外線 紫外線の影響による生地へのダメージ、劣化。	■ハイベックは「部屋干し」 繊維の劣化だけでなく色褪せや変色も防ぐ。
■廻し洗いによる負担 廻し洗い（物理的なエネルギー）を行うことで、繊維の奥の汚れを取り除けるが、同時に衣類のマイクロファイバーが剥がれ落ちる。	■ハイベックは「つけ置き洗い」 洗浄力が高く、つけ置き洗いでOK。やさしく洗い、繊維の脱落も防ぎ、風合いも損ないにくい。そのため長く着用でき、エネルギー資源も守ることができる。
■高温での洗濯による衣類への負担 水温を上げることで洗浄力は高くなるが、繊維が膨潤し、特にデリケート素材へのダメージは大きくなる。	■ハイベックは「常温のお水」 洗浄力が高いため水温を上げる必要がない。お洗濯時の温度差による縮みも防ぎ、お湯を沸かすためのエネルギーや手間を省ける。
■すすぎの回数の増加 汚れの程度や洗剤の使用量・洗濯物の量が多いとすすぎの回数も増える。	■ハイベックは「すすぎ1回」 再汚染防止剤配合、さらにドライ溶剤は揮発性なのですすぎは1回でOK。

お洗濯グッズで環境負荷をさらに軽減しましょう！

●●●トリプルガードネット●●●

Good!
トリプルガードネットに入れて洗うことで洗濯時の摩擦・摩擦を防ぎ、繊維の脱落を防ぎます。さらに、三重構造の細かい網目で脱落した繊維をキャッチし、繊維ごみの流出も防ぎます。

●●●ハイベックブラシ●●●

Good!
ハイベックのブラシは全て天然素材で、プラスチックを使用していません。着物のしみ抜きにも使用されている馬毛のブラシで、生地を傷めることなくしみ抜きが行えます。

シーズンオフだからこそ…

～日傘の仕舞い洗い～



春から夏にかけて大活躍した日傘。環境省も熱中症対策として使用することを薦めており、使用することで、全身の体感温度は1～2℃、頭部は4～9℃低下するといわれています。日傘は外で使用するため、排気ガスや砂ぼこり、ススなどの空気中の汚れに加え、傘を折りたたむ際に付着する手垢・皮脂・汗などの汚れも溜まっています。汚れが付着したままだと機能が損なわれたり、黄ばみや変色につながります。来年も気持ちよく使用するためにハイベックでの仕舞い洗いがおすすめです。

●お洗濯の前に

日傘にはポリエステル・ナイロン・綿・麻・シルクといったお洗濯可能な素材が使用されていることが多いですが、次のような日傘はドライクリーニング溶剤の影響で変化する場合がありますためつけ込み時間を短めにし、様子を見ながらお洗濯を行ってください。

- 装飾品がついている
- 革が使用されている
- ゴムが使用されている
- 樹脂で生地が貼り合わせてある
- 樹脂プリントがされている



💡日傘の洗い方

汚れている部分をブラシで一方方向に擦りしみ抜きを行います。

※麻・シルクなどのデリケートな素材は擦ると毛羽立ち・白化の恐れがあるため上から優しく叩いてください。

骨組みから布地部分を外せる傘は外し、布地部分をハイベック液につけ込み後、シャワーですすぎます。

タオルで水分を拭き取ります。金属部分に水分が残っているとサビの原因となります。

布地部分を骨組みに戻し半開きの状態で陰干しします。濡れた状態で完全に開くと布地が伸びる恐れがあります。



Step ①



Step ②



Step ③



Step ④

白やベージュなど布地の色が薄い日傘は、汗や手垢、排気ガスなどの空気中の汚れが付着し、時間が経つと黄ばみに変質してしまうことがあります。特に骨組みと骨組みの間の小間と呼ばれる布地部分は、傘を閉じる際など手で触れることが多いので汚れが付着しやすいです。黄ばんでいる場合は酸素系漂白剤で落とすことをおすすめします。



お洗濯後のフンポイント



日傘には日差しや紫外線をカットするための加工が施されていますが、時間が経つにつれて加工は少しずつ取れてしまいます。お洗濯後、完全に乾いた後にUVカットスプレーや、晴雨兼用の日傘であれば防水・撥水スプレーを使用することで加工が長持ちするだけでなく、汚れが付着しにくくなります。



おすすめですよ!!